

7 嬉里郷

50 年前(1969.1.1):人口 1,254 人 世帯数 297

現在(2019.1.1) :人口 5,525 人 世帯数 2,389

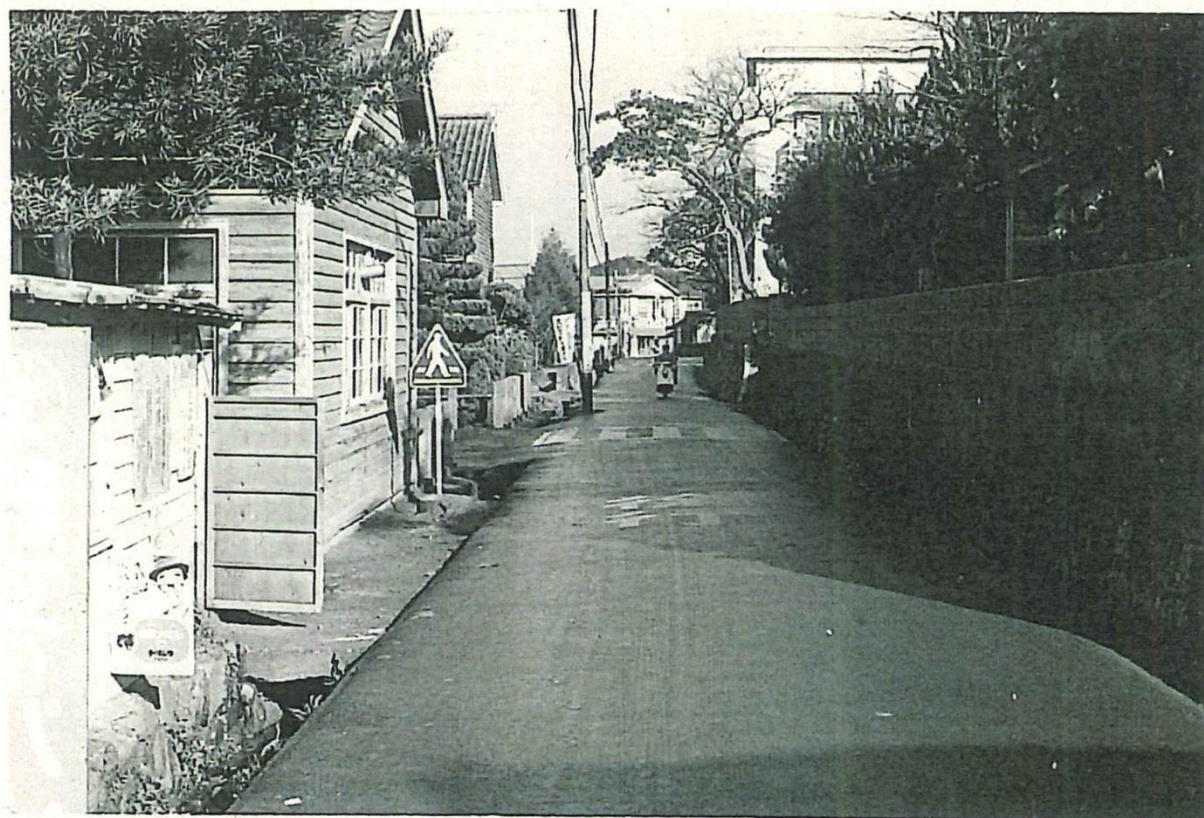


造成前の西田原団地 昭和 30(1955) 年代



西田原団地 令和元(2019)年 5 月

ビューテラス北陽台の山から現在の西田原団地を撮影した写真。左奥に見えるのは法妙寺。
昭和 49(1974)年から長与西部土地区画整理事業が行われ、西田原団地ができた。



役場前通り 昭和 40 年 (1965) 年代



役場前通り 令和元年 (2019) 年 5 月

終戦後、長与村に待望のバス乗り入れが実現したのは昭和 28 (1953) 年 3 月であり、長崎バスが道の尾～寺の下間 4.6 キロと、船津橋～一本松 3.3 キロの区間を運行した。最初の頃は、榎の鼻から旧役場庁舎（現在の図書館）前を通り、長沢医院前を通過、定林橋を渡り、岩淵神社前より船津橋を渡り、岡方向へ運行していた。その間道路幅が狭く、軒端すれすれの通過で、よちよち運転の状態であった。



長与小学校全景(住民提供) 昭和 11 (1936) 年 10 月



長与小学校グラウンド 令和元 (2019) 年 5 月

明治 6(1931)年、法妙寺を仮校舎として新しい教育が発足し、翌明治 7(1932)年に旧庄屋跡すなわち現在の長与小学校の場所にあった家屋を校舎として、「長崎県彼杵郡・長与村長与小学校」が誕生した。



長与小学校落成祝い(住民提供) 昭和 11(1936) 年

昭和 11(1936)年に講堂・南校舎 2 階建てを新築し、その落成祝い。



長与中学校(住民提供) 昭和 11(1936) 年



長与町役場・長与町水道局 令和元(2019) 年 5 月

以前は現在の役場庁舎の場所に長与中学校が建っており、昭和 52(1977)年に丸田郷に移転した。

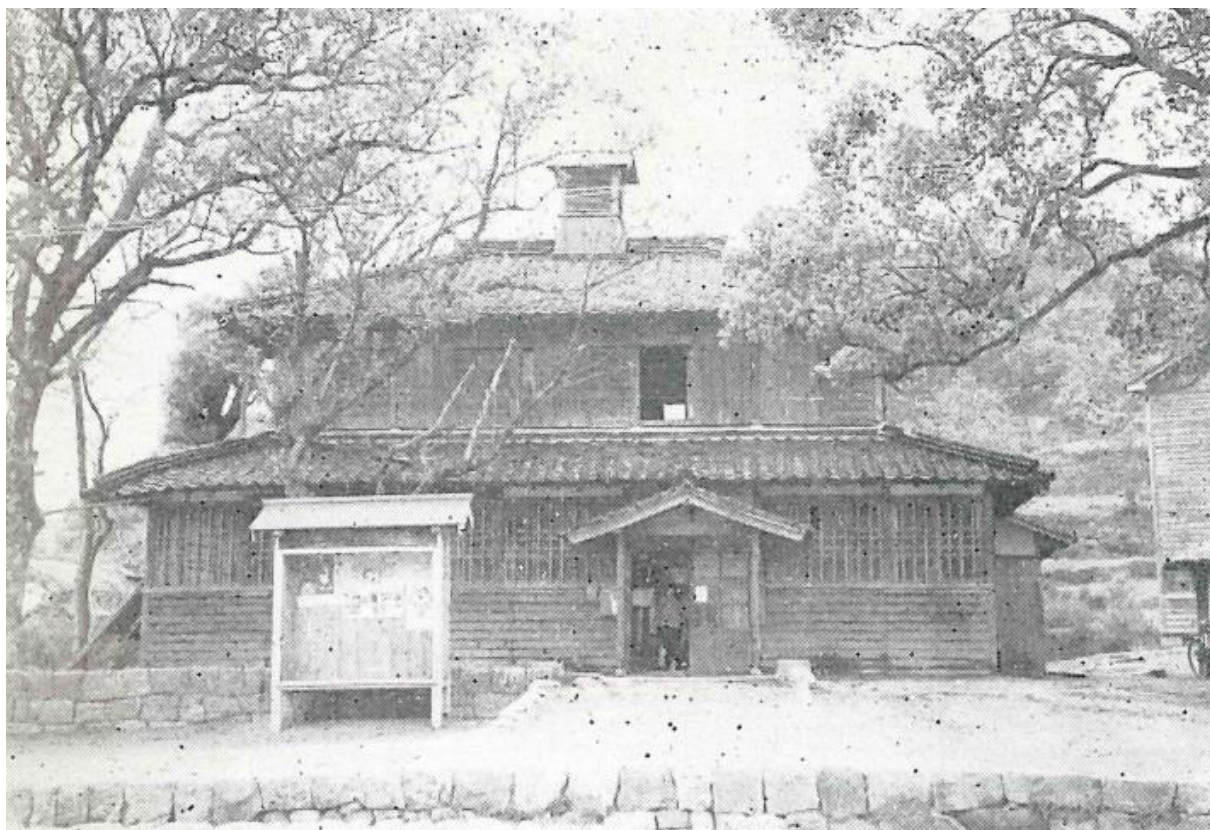
昭和 24(1949)年～昭和 54(1979)年の 30 年間、長与中学校に県立長崎西高等学校長与分校（定時制高校）が併設されていた。男子 624 名、女子 66 名、計 690 名の卒業生を世に送り出した。



現長与町公民館道路 昭和 47 (1972) 年



現長与町公民館道路 令和元 (2019) 年 5 月



明治 40 年落成の長与村役場

明治 22(1889)年 4 月から村制を施行した長与村。区域を齊藤郷・岡郷・嬉里郷・高田郷・吉無田郷・丸田郷・三根郷・平木場郷・本川内郷の 9 郷に分割、村役場を嬉里郷 636 番地に定めた。当時の人口は 5 千数百人。



長与村役場新庁舎 昭和 33 (1958) 年



長与村役場新庁舎 昭和 40 年 (1965) 年頃



現長与町図書館 令和元 (2019) 年 5 月

昭和 33(1958)年、長与村役場新庁舎完成。9 月 14 日、落成の式典が長与小学校講堂で行われ、午後は長与中学校の校庭で各郷よりそれぞれ郷土民芸が披露され、村民の祝福と歓喜のうちに盛大に行われた。

昭和 49(1974)年には 3 階増築工事が行われ、その後何度か増築が行われて、現在の姿になっている。

昭和 63(1988)年、現庁舎の落成に伴い、平成元(1989)年より、長与町図書館として利用されている。



長与町町制施行 昭和 44 (1969) 年 1 月



長崎国体 昭和 44 年 10 月

昭和 44 (1969) 年 1 月 1 日、長与は町制を施行、ここに新しく、人口約 1 万 3 千人の長与町が誕生した。

長与が町制を施行したのち、町をあげて最初に取り組んだ大きな仕事は、長崎国体の完遂であり、これに関連した環境の整備であった。昭和 44 年 10 月 26 日から 31 日まで長崎国体が開催され、長与町は一般女子ソフトボールの競技会場となり熱戦が繰り広げられた。



昔の中央商店街(三菱グラウンド付近) 昭和 47 (1972) 年



長与小学校から三菱グラウンドまでの通り 令和元年 (2019) 年 5 月

当時町内の中央商店街といえ、丸田社宅からも近いこの場所であった。



昔の中央商店街(三菱グラウンド付近) 昭和 47 (1972) 年



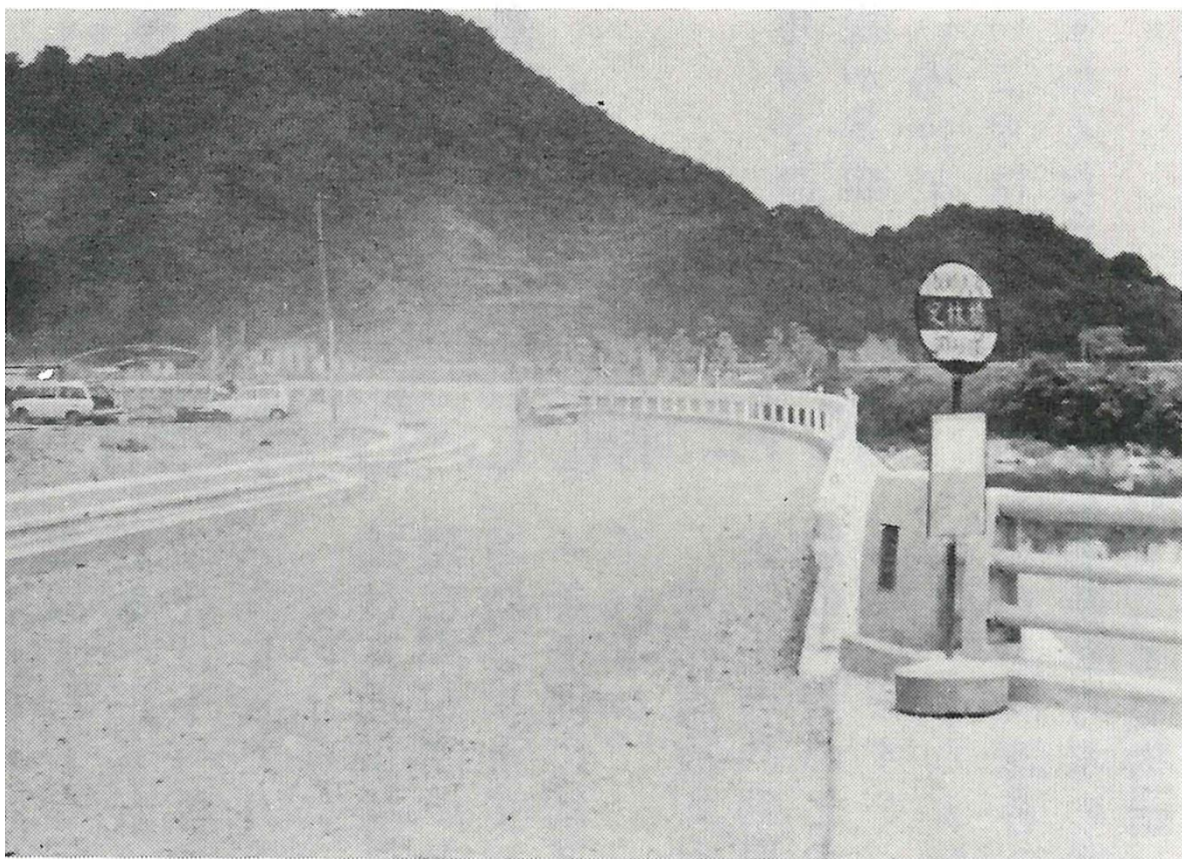
三菱グラウンド 令和元 (2019) 年 5 月



昔の中央商店街(三菱グラウンド付近) 昭和 47 (1972) 年



三菱グラウンド前 令和元 (2019) 年 5 月



定林橋 昭和 47 (1972) 年



定林橋 令和元年 (2019) 年 5 月



氷取地区 昭和 34(1959) 年 6 月

現在のじげもん裏、氷取西公園の辺り。今は住宅やアパートが立ち並び、遠くの山も隠れてしまう。

長与川河川改良工事

工費 9,100 万円で、寺の下から上流にむかって 540メートルが拡幅改良されます。
これによって県道も新しく幅員 7メートルに改良されます。



長与川河川改良工事 昭和 46(1971) 年



寺の下 令和元年(2019)年 5 月

昭和 46(1971)年、寺の下から上流に向かって 540 メートルの拡幅改良工事が行われた。